

BOSAI-TECHビジネスマッチング

登壇者のご紹介

開催日時 2021年3月12日(金) 15:00~17:20

言語: 英語(一部日本語通訳あり)

開催場所 オンライン開催 視聴無料(事前登録制)

主催: 仙台市、福島県、経済産業省、JETRO

お申し込みはこちら ▶ <https://rbc2020.sendai-bosai-tech.jp/business-matching/>

基調講演

防災ISO（国際標準化機構）設立の背景と展望 — 総合的な防災による新産業の創出



東北大学災害科学国際研究所
教授

今村 文彦 氏



東日本大震災の発生を受けて2015年に仙台市で国連防災世界会議が開催され、2030年までの国際社会での防災の指針である「仙台防災枠組」が採択されました。この仙台枠組に貢献し、現在の科学・技術の新産業化を支援する取組「防災ISO」の活動を紹介しします。

🔊 English 🖨️ English

特別講演

福島ロボットテストフィールドのご紹介



福島県庁
ロボット産業推進室長

鈴木 章文 氏



Fukushima
Prefecture

福島県における震災の被害と復興状況、福島イノベーション・コースト構想における廃炉やロボットなどの取り組み、研究開発拠点としての福島ロボットテストフィールドをご紹介します。

🔊 English 🖨️ English

仙台防災枠組の社会実装による世界の災害リスク低減への取組



仙台市経済局
産業政策部産業振興課長

神倉 崇 氏



仙台市
SENDAI CITY

①「仙台防災枠組2015-2030」に基づき本市が推進するBOSAI-TECHの取り組み、②本市のビジネス環境、の2点についてご紹介しします。

🔊 English 🖨️ English

Pitch Session1 Image Analysis & Recognition

スマートシティソリューション

インドネシア

**Qlue**CEO - Co-Founder
Rama Raditya 氏

2016年に設立されたQlueは、首都ジャカルタでのインドネシア初のスマートシティの導入に携わってきました。今日では、政府や地方都市、災害支援機関、また様々な業界の民間企業等50以上の顧客から高い評価を受けています。

English

日本語

「マブコミ」とAI画像認識を活用した災害時初動支援システム

日本

**アンデックス株式会社**ITソリューション部兼 海外事業準備室
システムエンジニア
ムハマドハイリルアムリ ビン ナルザリ 氏

アプリ・システム開発や各種自社サービスなどを提供している宮城県仙台市のIT企業です。「マブコミ」とAI画像認識を活用した災害が起きた時の初動を支援するシステムを紹介します。

English

English

AI・画像解析によるDX

タイ

**OZT Robotics**Co-founder
Panin Pienroj 氏

AIや画像解析技術等により企業のデジタル化を支援する企業です。小売、保険、防衛、不動産、物流など幅広い業界の顧客にソリューションを提供しています。日本国内でも大阪大学との提携実績があります。

English

日本語

Pitch Session2 Sensing & Robotics

IoTエッジデバイスである自社プロダクト「Tibbo-Pi」の特徴とプロダクトを使用したIoT環境データセンシング事例

日本



株式会社コー・ワークス

代表取締役 副社長

小堀 幸彦 氏



ダムシステム開発などの全国200箇所以上のシステム開発を展開する仙台市にある企業です。ソフトウェアだけでなくハードウェアを設計・開発し、自社プロダクトもっております。

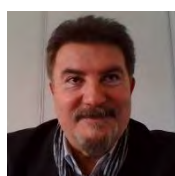
IoTエッジデバイスである自社プロダクト「Tibbo-Pi」の特徴と事例についてご紹介します。「Tibbo-Pi」は基盤の設計・製造も不要で、簡単に素早いIoTデバイス導入を実現します。

🔊 日本語

📺 English

ノイズ・振動のリアルタイム制御技術

フランス



TechnoFirst Next Generation

Chief Technical Officer

Christian Carme 氏



TechnoFirst Next Generationは、音響・振動の制御技術を用いた製品を開発・製造するフランス企業です。30以上の特許を持ち、特に製造、建設、運輸の分野でソリューションを提供しています。地震大国日本の問題にも貢献ができと考えています。

🔊 English

📺 日本語

会津大学における産学連携によるロボット研究開発

日本



公立大学法人会津大学

コンピュータ理工学部 教授

成瀬 継太郎 氏



会津大学は1993年に開学した日本最初のコンピュータ理工学専門の大学です。約110名の教員と約1200名の学生が在籍しています。

会津大学では、私たちの持つ情報処理技術を活用し、ロボットに関する研究をしています。ロボットの開発においては、福島県内の企業と連携しています。

🔊 English

📺 English

無人機制御システムを活用した遭難者探索ソリューション

台湾



All Aspect System

CEO

Chen-Ming Kuo 氏



All Aspect Systemは、ドローンを始めとする海上・陸上の無人機の制御システムを開発する台湾の会社で、台湾政府や民間企業、大学等に、新しい遭難救助のソリューションを提供しています。防災バッグや非常持出袋に取り付けたLoRa/GPSモジュールの携帯用機器をドローンで探索することにより、従来の方法より効率的に遭難者を発見することができます。

🔊 English

📺 日本語

Pitch Session3

Risk Reduction

緊急避難訓練のための学習管理システム

アメリカ



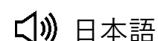
LOCI

CEO

Samantha Mathews 氏



LOCIの学習管理システムは、避難や緊急事態対応訓練、感染疾病の予防や安全管理、製品保守訓練などを、ゲーミフィケーション、IoT等を活用して、人々の記憶に残りやすい方法でトレーニングコンテンツを提供します。



日本語



English

DX推進とデータ活用という視点からの災害リスク・コロナリスク対策体制の構築

日本



b.mode株式会社

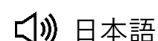
企画マーケティング部 部長

岡島 由典 氏



b.modeでは、デジタルマーケティング領域で、東北をはじめ国内の企業の支援をしています。サイト制作から、広告運用、データ分析までを実践しています。

災害時の企業の情報財産を脅かすリスクへの備えとして、会社が存続・発展していくために必要なことについて、デジタルマーケティング会社の立場からお話します。



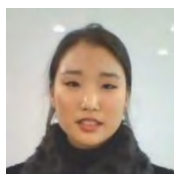
日本語



English

緊急時に素早い対応を可能にする安心サービス「スマート緊急アラート」
—スマホを利用したリアルタイム映像・音声・位置情報の送信

韓国



Ahranta, Inc.

海外営業部/ 代理

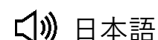
Helen KANG (姜文熙) 氏



Ahranta, Inc.

アランタは、1993年に韓国初の遠隔支援ソリューションを開発した企業です。公共、金融、教育機関など様々な分野で、30年以上にわたり、遠隔サポート及びセキュリティソリューションを、5,000社の顧客へ提供しています（韓国でのマーケットシェア40%）。

「スマート緊急アラート」は、ユーザーのスマホを利用してリアルタイム映像・音声・位置情報を送ることができる、緊急時に素早い対応を可能にする安心サービスです。ほか、安心帰宅(目的地までの位置共有)、お子様スマホ管理(使用時間管理)、セキュリティ(スマホ保護)機能も提供します。



日本語



English

Pitch Session4 Life and Health

救急医療管制・意思決定支援システムを活用した
『高齢・弱者の健康を見守るシステム構想』

日本



株式会社ナナイロ

医療事業部
事業部長
竹内 与志夫 氏

nanairo



バース・ビュー株式会社

代表取締役社長 兼 CEO
夏井 淳一 氏

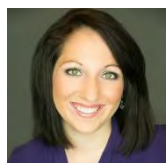
仙台市のIT企業で、ソフトウェア開発をメインに、デザイン、コンサルティング、ICTを活用したサービスなど、幅広い企業活動を展開しています。

救急医療管制・意思決定支援システム「e-MATCH」を提供するバース・ビュー株式会社と協働し、地域の防災医療や救急医療の質向上に活かします。

🔊 日本語 🖥️ English

拡張現実（AR）や仮想現実（VR）によるストレス緩和ソリューション

アメリカ



Healium

COO
Wendy Moore 氏

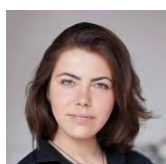
H E A L I U M

Healiumは、拡張現実（AR）や仮想現実（VR）による美しい自然の中の体験を提供することで、ユーザのストレスの緩和を可能にするソリューションです。Healiumが提供するサービスにより利用者の不安が軽減され、わずか4分で積極性を高められたことも論文で示されています。（tryhealium.com/science-behind-healium）

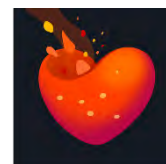
🔊 English 🖥️ 日本語

幸せで豊かな生活のための健康維持アプリ

アメリカ



Welltory, Inc.

CTO
Evgeniya SMORODNIKOVA 氏

スマートフォンやスマートウォッチで測定した心拍変動を独自のアルゴリズムでストレスや疾病リスクを警告します。世界200万人ユーザーに愛用されており、ロシアではNo.1の健康維持アプリです。

🔊 English 🖥️ 日本語

Pitch Session5 Diagnosis & Prediction

日立グループの総合IT企業として、地域に根差しながらも積極的なグローバルを推進 – 防災における共同研究やオフショアリングの推進

日本



株式会社日立ソリューションズ東日本
人財統括本部 調達部
小出 将人 氏

HITACHI
Inspire the Next

日立ソリューションズ東日本

株式会社日立ソリューションズ東日本(略称：HSE)は仙台市に拠点を置く日立グループの総合IT企業です。地域に根差しながらも、積極的なグローバルを推進しております。

当社との防災における共同研究やオフショアリングによる業務委託パートナーを募集しております。

🔊 日本語

🌐 English

高精度での風向・風力予測シミュレーション

中国



Bixuange LLC
CEO
Tang Yang 氏

鼻玄閣
THE BIG PAVILION CO.LTD.

Bixuangeは、中国・深センに拠点を置くIT企業で、データの収集・分析、機械学習アルゴリズム、視覚化システムの開発、およびスマートシティ関連サービスを専門としています。同社は2015年にマサチューセッツ工科大学(MIT)卒業生によって設立、現在の従業員数は25名です。リアルタイムに高い精度で風向・風力予測をするシミュレーション技術は、風による都市の災害を予防することに貢献しています。

🔊 English

🌐 日本語

固定翼型長距離無人航空機と広域災害対策情報支援システムを活用した
広域情報収集プラットフォーム

日本



株式会社テラ・ラボ
代表取締役
松浦 孝英 氏

TERRA LABO

無人航空機をはじめとする研究開発を行うスタートアップベンチャーです。

大規模災害発生時に活躍できる、衛星通信を活用した長距離無人航空機による広域情報収集プラットフォームの研究開発に注力しています。複数拠点での情報共有が可能な広域災害対策情報支援システムと、航続距離最大1000kmの翼長 4 m 固定翼型無人航空機についてご紹介します。

🔊 日本語

🌐 English

レジリエンスのためのインフラ設備の定期点検

日本



丸紅株式会社
建設機械第一部
部長代理
千葉 敬 氏

Marubeni

丸紅は国内外のネットワークを通じ、幅広い分野において各種サービス業務、事業投資等の事業活動を多角的に展開しています。

今回はレジリエンスのための定期点検の重要性、ドローン・AIを活用したインフラ設備点検の高度化・効率化についてお話しします。

🔊 日本語

🌐 English